

質問した事項

11人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表で御覧いただけます。



■田中 昌幸 議員…07

- ・市立病院の不良債務残高は
- ・移住者への農地付き空き家の提供

■大前 昭代 議員…08

- ・高齢者雇用と生活について
- ・差別をなくす取組について

■宮澤 孝司 議員…08

- ・コロナ禍の地域経済対策は
- ・防犯カメラの設置と運用マニュアル

■小田 雅一 議員…09

- ・コロナワクチンの接種状況
- ・エゾシカによる農作物の被害対策は

■太田 幸一 議員…10

- ・深川市のコロナ対策思想は
- ・福島原発事故等原発施策のずさんさ

■佐々木一夫 議員…10

- ・市長答弁の曇りない証明は
- ・市立病院における不正行為者の扱い

■辻本 智 議員…11

- ・屋外での運動は推奨すべき
- ・感染症に対応したBCPの策定

■松本 雅祐 議員…12

- ・生理の貧困の支援について
- ・ヤングケアラーへの支援と周知は

■田畑 陽美 議員…12

- ・食品ロス削減の取組は
- ・移住希望者への空き家紹介事業は

■北村 薫 議員…13

- ・市街地の空き地について
- ・農村地域の市道整備について

■北名 照美 議員…14

- ・市立病院の疑惑を認めるか
- ・官製談合事件後の前市長退職金返還



たなかまさゆき  
田中昌幸 議員  
【民主クラブ】

市立病院の不良債務残高は  
17年ぶりに全額解消見込み

◎ 市立病院は国が指定する第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症に対応するために空き病床の確保などをしてきたが、2020年度決算見込み及び不良債務残高について伺う。

◎ 令和2年度決算は、病床確保等の補助金7億2900万円を含めた医療外収益11億5300万円を見込み、事業収益全体では5億1900万円増の47億8900万円を見込んでいます。不良債務残高は前年度末が2億3200万円でしたが、令和2年度決算は、資本的収支を加味した流動資産及び流動負債から算出

すると4億5100万円の改善が見込まれ、17年ぶりに不良債務が全額解消される見込みです。

移住者への農地付き空き家の提供

◎ 都市部住民の農山漁村への移住意向は3割を超え、移住者にとって家庭菜園などができる農地

付き空き家の提供は魅力的であり、少なからず希望があると思うが、移住促進の面からの取組の考えを伺う。

◎ 移住希望者の住宅のニーズとしては、家庭菜園など手作業で維持・管理が可能な2坪程度の希望が多く、農地に分類される広さの土地を希望する方はいませんが、コロナ禍を背景に地方移住を考える方が増えており、農地付き空き家を提供する取組は、新たな移住希望者の掘り起こしにつながることから、取組事例の情報収集を図り、事業化の研究や課題の洗い出しなどに努めていく考えです。

移住定住サポートセンターHP





みやざわた かし  
**宮澤孝司** 議員  
「令和公明クラブ」

## コロナ禍の地域経済対策は 国に対し支援を強く求める

カメラ画像利活用  
ガイドブック：  
総務省HP



防犯カメラ



おおまえあきよ  
**大前昭代** 議員  
「民主クラブ」

## 高齢者雇用と生活について 社会参加の促進に取り組む

高齢者雇用安定  
法の改正：厚生労働省HP



人権に関する講演会

◎ 高齢者雇用安定法の改正による70歳まで働ける機会の確保は、シニアの方達の生きる意欲を支え、生活の質が高まるものであるべきと考える。各人の持つ力を最大限に発揮するための支援に対する考えを伺う。

◎ 本市では、豊かな経験と知識を生かした活動が期待されているアクティビシニアの皆さんに、生活・介護支援サポーター養成講座などを通じてボランティア活動を奨励するほか、生活支援コーディネーターを配置し、ニーズの把握や必要な情報を発信し、生活支援や社会参加の促進に取り組んでいます。今後も各種

介護予防事業や訪問活動を積極的に進め、サロンやボランティア活動などの情報の周知を図っていきます。

◎ **差別をなくす取組について**  
差別は特別な人の行為かと思いがちだが、実際は誰でも差別的な言葉を使ってしまう可能性がある。大切なのは差別について考え、話し合うことであるが、授業や研修等の実施と今後の取組について伺う。

◎ **差別をなくすための啓発活動として、植物を協力して育てること**で人権思想を育む人権の花運動や、人権擁護委員による

◎ 小中学校での人権教室を実施しているほか、令和元年度は、男女共同参画市民フォーラムによるLGBTの基礎知識に関する講演会が開催されました。今後も、人権や差別を考える機会の提供などを行い、差別を解消するための取組に一層努めていく考えです。

◎ 事業者の苦しい状況を踏まえ、深川商工会議所から緊急経済対策要請書が提出された。今後ワクチン接種が進み、コロナ禍の一定程度の収束も考えられるが、事業者支援を含む地域経済対策を伺う。

▲ 現段階で新型コロナウイルス感染症の今後の

状況は見通せず、収束後の地域経済の回復には多くの時間を要することが考えられることから、全国市長会では国に対し支援を講じるよう強く求めています。市としても有効的な支援が講じられるよう努力を重ねるとともに、現在も深川商工会議所と連携し、国の支援事

業などの周知や相談対応を実施していますが、今後も事業者に寄り添った丁寧な対応に努めます。

**防犯カメラの設置と運用マニュアル**

◎ 安心安全なまちづくり、犯罪の抑止や地域の防犯力向上のため、防犯カメラの設置が望まれる。

町内会や商店街等の団体を対象とした設置に対する補助事業と運用ガイドライン等の策定について伺う。

▲ 道内では3市が、町内会等に対する防犯カメラ設置の助成を行っていますが、まだ制度化している自治体が少ないことから、市内の防犯団体の

意見を伺うなど、今後も調査研究していきたいと考えます。ガイドラインの策定については、総務省と経済産業省の連名でカメラ画像利活用ガイドブックが示されており、このガイドブックを市のホームページに掲載するなどして周知に努めていく考えです。



おだまさいち 議員  
小田雅一 議員  
「公政クラブ」

## コロナワクチンの接種状況 当初の予定よりも早い進捗

◎ 新型コロナウイルスの接種が5月17日から始まったが、デ・アイの集団接種及び市内医療機関の個別接種において、どれくらいの方が接種されたのか。また、高齢者施設での接種状況についても伺う。

▲ 6月16日時点で、65歳以上の高齢者8228

人のうち、83%にあたる6846人の方が予約を完了し、そのうち3825人の方が1回目のワクチン接種を終了しており、当初予定していた計画よりも、集団接種と個別接種を拡充したことにより早く進んでいます。また、高齢者施設の接種状況は、特別養護老人ホーム2か

所、老人保健施設1か所、長期療養する医療機関2か所で396人が接種を受けています。

**エゾシカによる農作物の被害対策は**

◎ メム地区の石狩川沿いでもエゾシカの被害が出るようになり、今は電柵を設置するほどでは

ないが、今後の状況によっては地域の協議が必要と考える。エゾシカの被害防止に向けた市の考えを伺う。

▲ 被害現場は河川敷地であり、銃などによる捕獲対策は一定の規制が考えられ、防除対策についても、電柵の設置に多額の経費を要することや、

設置場所の草刈りなどの維持管理が必要になるため、地域全体の合意を得て推進することが必要になると思います。このため、まずはエゾシカの生息状況や被害状況を改めて確認するとともに、コストや効果を踏まえ、どのような対応が可能か検討していきます。

新型コロナウイルスワクチン接種について：  
市HP



ワクチン接種の様子



さ さ き か ず お  
佐々木一夫 議員  
「新政クラブ」

## 市長答弁の曇りない証明は 要項に基づいた適正な審査

道の駅「ライスランドふかがわ」:市観光サイト



道の駅「ライスランドふかがわ」



お お た こう い ち  
太田幸一 議員  
「新政クラブ」

## 深川市のコロナ対策思想は 医療機関の使命を果たす

新型コロナ道内の発生状況:  
北海道HP



新型コロナワクチン

◎ 日本は先進国の中でも保健医療の予算が少なく、人命第一の思想が薄い。新型コロナウイルス感染症の医療崩壊が大都市を中心に進行しているが、発熱外来・感染者用病棟を持つ深川市の思いを伺う。

◎ 月25日時点で約7割、6月14日時点では約4割まで減少した一方、札幌市の使用率は8割を超え、予断を許す段階にはないと認識しています。市立病院は、感染症陽性患者用に33床、感染症疑い患者用に9床を確保し、道内における医療崩壊が生じないように、医療機関と

しての一定の使命を最大限に果たしつつ、圏域住民への医療提供体制も維持していく考えです。

◎ **福島原発事故等原発施策のずさんさ**  
◎ 日本が保有するプルトニウムは8キロ原爆約6千個相当になる。広島・長崎の悲劇を繰り返さ

ないために全ての核をなくすべきと思うが、非核平和を掲げる深川市としてどのように向かうべきか伺う。

◎ **A 経済産業省が示す長期エネルギー需給見通し**  
では、安全性や経済効率性などの政策目標を同時達成する中で、再生エネルギーの導入等を進め

つ、原発依存度を可能な限り低減することが基本方針として述べられています。本市としても、国においてエネルギー分野の安心・安全を最優先させた上で、国民の理解を十分に得て適切な電源構成が確保され、エネルギー施策が進められることが重要だと考えます。

◎ 市長は3月議会で道の駅問題に「一点の曇りもない」と答弁した。カフェコーナーがおにぎりコーナーになつてゐるのは完全な応募要項違反と思うが、一点の曇りもないことを論理的に証明されたい。

Ⓐ 道の駅のテナント出店者募集要項では、カフェ

エコーナードはコーヒードのドリンクを提供する、指定管理者との事前協議に基づき自社製品の軽食を提供できる、指定管理者が指定する商品を販売するなどとされており、応募にはカフェコーナーとテークアウトコーナーがリンクした事業案などがあり、最終的に現在の

事業者が選定され、この部分に関して違反はないと認識しています。

市立病院における不正行為者の扱い

◎ 証拠隠滅や口裏合わせを防止するため、問題の管理職2人を休職させないのか。公益通報者を異動させ、犯罪性を指摘

される2人が居残るのは社会常識に反し、市民の疑惑をさらに招くと思わないか。

Ⓐ 市立病院の内部調査において、最終的にプロ野球観戦チケットの授受はなく、収賄罪などの犯罪には該当しないと判断しており、関係職員2人に対し懲戒処分には至ら

ない訓告などの措置を行ったところで、通常通り勤務することは問題ないと考えています。なお、第1回定例会で北名議員から示された録音記録については、診療放射線課に関する調査委員会の調査結果が出ていない以上、従前どおりの対応で問題ないと判断しています。



つじもと さとし 議員  
辻本 智  
「モ・レラ(静かな風)」

## 屋外での運動は推奨すべき 運動禁止の意図ではない

新型コロナウイルス感染症関連情報  
：市HP



深川リバーサイド  
パークゴルフ場

◎ 緊急事態宣言期間中に市内のパークゴルフ場が閉鎖され、市民から問合せが寄せられている。国と北海道では、屋外での運動や散歩などは健康維持のために必要と明記しているが、本市の見解を伺う。

Ⓐ 市では、北海道への緊急事態宣言発出を受け、

公共施設の利用等について新聞折り込みチラシ等で周知したもので、屋外での運動などが健康維持のために必要である旨の記述を省略したことについては、別項目の説明書きに同内容を包括しており、屋外での運動や散歩を禁止する意図で削除したものではありません。

今後は、市民の方に誤解を与えることのないよう、より正確な情報の伝達を心がけていきます。

感染症に対応したBCPの策定

◎ 自然災害と感染症では、リスク特性に根本的な違いがある。不要不急業務の判断を的確に行う

ため、公共施設管理と業務の優先順位を明確にした業務継続計画感染症編の策定について市の考えを伺う。

Ⓐ 新型コロナウイルス感染症に対応した業務継続計画の策定について、市では組織的・統一的な対応が取れるよう、新型コロナウイルス感染症対

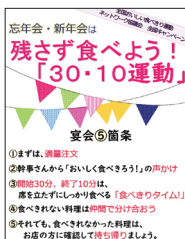
応の手引きを昨年策定し、内容も随時見直ししており、当面はこの手引きに基づいた対応を考えています。また、指揮命令についても深川市業務継続計画を準用して対応することとしており、業務継続計画感染症編については、引き続き検討すべき課題と考えています。



たばたはるみ  
**田畑陽美** 議員  
「民主クラブ」

## 食品ロス削減の取組は 関係機関と連携し取組推進

どさんこ愛食食べ  
きり運動:北海道  
HP



3010運動啓発チラシ



まつもとまさひろ  
**松本雅祐** 議員  
「令和公明クラブ」

## 生理の貧困の支援について 相談の際に聞き取りを行う

◎ コロナ禍の影響で、生理の貧困が浮き彫りになっている。5人に1人の若者が、経済的な困窮や親のネグレクトが原因で生理用品を購入できない状況にあるが、生理用品の支援に対する市の考えは。

◎ 経済的な理由などで生理用品を購入できない、いわゆる生理の貧困が報道でも取り上げられ、市としても女性の健康や尊厳に深く関わる社会的な課題と受け止めています。現在のところ各種相談窓口にて、生理用品の入手に困っているなどの相談は寄せられています。相談者が十分に配慮した中で聞き取りを行い、

支援については国の動向を注視しつつ、他市の状況等も研究していきたいと考えます。

◎ ヤングケアラーは家族の世話や介護をするため、勉強やクラブ活動、友達と遊ぶ時間もなく、

◎ 自分がヤングケアラーだと自覚できず、誰にも相談することができないという。支援と周知の考えを伺う。

◎ 国では来年度から3年間をヤングケアラー認知度向上の集中取組期間としており、市としても関係する所管と連携して広く周知を行う考えです。

◎ また、支援については、児童生徒の多様化する悩みに対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置しており、今後、ヤングケアラーと思われる事案が発生した場合も、必要な支援につながるよう関係所管と連携していきます。

ヤングケアラー  
について:厚生  
労働省HP



◎ 日本では一人当たり茶わん一杯分の食品が毎日廃棄されている。食品ロス削減は、食育の推進やSDGs達成の観点からも重要な課題であるが、事業者や市民への周知・啓発も含め今後の取組を伺う。

◎ 取組状況としては、イベント開催時のチラシ配布による啓発、会食や宴会時の食べ残しを減らす3010運動の啓発ポスターの掲示や深川市環境衛生協会との共催による食品ロスを題材とした研修会を実施しています。今後、これらの取組の継続に加え、北海道が進

めている、どさんこ愛食食べきり運動など、関係機関の施策との連携を図りながら取組を推進します。

◎ 移住希望者には中古一戸建て住宅の希望が多いことから、空き家紹介の新事業が3月から開始されたが、事業の有効性を伺う。

◎ 移住者対応において、空き家バンクの詳細な情報を求める声の高まりを受け、移住定住サポートセンターのホームページ内に、物件の室内状況などを掲載した空き家紹介のページを新設しました。事業開始から現在までの実績は、掲載した32件の中古の一戸建ての賃貸・売買物件のうち、8件が売買契約に至っており、引き続き紹介物件の確保を図り、移住者の増加につなげていきます。



かおる 北村 議員  
きたむら 「公政クラブ」

## 市街地の空き地について

## 課題解決に向け取組を推進

◎ 市街地の老朽空き家が解体され、空き地が多く見られるようになった。人口減少とともに深川市の衰退をより感じてしま

◎ 整理事業や住宅持家促進助成、住宅リフォーム助成などの施策により、まちなか居住の推進に努めてきました。しかし、市内中心部において、都市のスポンジ化・空洞化が進んでいることから、人口減少に負けない活力あるまちづくりという、本市の目標実現のため、今

◎ 後も課題解決に向けた取組を推進する必要があると考えます。

◎ 農村地域の市道整備について  
◎ 現在、市内の農村地域において未舗装の道路が多く見られるが、地元住民の生活道路としては大きな問題と思われる。

◎ 厳しい深川市財政の中において、どのような財源確保により整備計画を立てているのか伺う。

住宅助成制度について：市HP



昨年舗装整備した川2線

# 掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会  
YouTube  
チャンネル



一般質問通  
告表



きたなてるみ  
**北名照美** 議員  
【日本共産党】

## 市立病院の疑惑を認めるか 調査委員会で情報を精査中

◎ 市立病院診療放射線課管理職員が事業者からプロ野球観戦チケットをもらい、入札で便宜を図っていたとしたら大問題だが、本人たちは認めているのか。このような事例の場合、どういう処分になるのか。

現時点での個別の聞き取り内容については、今後の調査にも影響するためお答えできません。仮に野球観戦チケットを実際に受け取っていれば、国家公務員の倫理規定では懲戒処分にあたり、深川市はそれを参考に判断することとなり、もし便宜を図ったという事実があ

れば、内容によって判断されると思いますが刑法に該当する場合もあるかもしれません。

◎ **官製談合事件後の前市長退職金返還**  
深川市政最大の不祥事、2006年官製談合事件で、前市長に3期目退職金返還命令が当時出

されたが、その金額と返還状況を問う。市民は知る権利があり、市は知らせる責任と義務があるのではないか。

◎ **本市における退職手当の支給事務は、北海道退職手当組合が処理しており、前市長は禁固以上の刑が確定したため、退職手当組合より返還命令**

がなされたと聞いています。その返還状況に関しては、北海道市町村職員退職手当組合個人情報保護条例に基づき保護されているため、本市が知り得る情報ではありませんが、金額については給料及び手当支給額から算定すると1768万1664円と承知しています。

深川市立病院HP



深川市立病院



■田中 昌幸 議員

- ・2020国勢調査速報値による人口動態について
- ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に関わる市への影響について
- ・職員コンプライアンスについて

■大前 昭代 議員

- ・家庭の社会経済的地位による教育格差について

■宮澤 孝司 議員

- ・コロナ禍における大学生に対する支援について
- ・深川市協働のまちづくり事業補助金について

■小田 雅一 議員

- ・コロナ禍における雇用状況について
- ・公共施設等総合管理計画について
- ・中学校統合に伴う小学校間の交流について
- ・令和2年度の合宿状況とエフパシオの運営について

■太田 幸一 議員

- ・『こども庁』設置の意味を問う

■佐々木一夫 議員

- ・公益通報者の労働条件について
- ・公益通報者保護法の答弁についての疑問について
- ・市立病院のパワハラ処分について

■辻本 智 議員

- ・業種別ガイドラインについて
- ・市内防犯カメラの設置と運用に係る条例制定について

■松本 雅祐 議員

- ・新型コロナワクチン接種について
- ・移住定住の推進について
- ・避難情報の変更と災害弱者の個別避難計画及び備蓄品について

■田畑 陽美 議員

- ・スマート農業の導入促進について
- ・第六次深川市総合計画について

■北村 薫 議員

- ・農家における期間限定の人材確保について

■北名 照美 議員

- ・新型コロナウイルス感染症と東京オリンピック・パラリンピックについて
- ・アイヌ民族に対する対応について
- ・選挙行政について
- ・生活保護行政について
- ・医療、福祉行政について
- ・平和行政について